

0歳から18歳までの一貫教育のまち 『おおつち一貫教育推進』かわら版 大槌町は、教育を「つなげる」「ひろげる」まちです。



令和5年8月3日(木) No.14
文責
教育委員会学務課 吉田

・大槌高校体験入学大好評!!

7月28日(金)に大槌高校の一日体験入学があり、85名の中学生が参加しました。

体験入学では、学校概要や復興研究会、はま研究会の説明、探究活動(マイプロジェクト)の発表、学校設定科目「地域みらい学」の模擬授業、部活動見学を実施しました。

生徒の感想(一部抜粋)

①探究活動発表について

- ・自分が気になったことやどうしたら広めていけるかなど詳しく説明されていて、私もすっぴくについて興味を持ちました。地域のことを知れる良いきっかけになったと思いました。
- ・自分の好きな事から、社会や学校生活に役立つという道を知ることができました。特に、自分と同じ様な不登校の人を支える点はとても感心しました。
- ・先輩のプレゼン力がすごくて、自然と話に入っていった。

②模擬授業について

- ・全員のレベルに合わせてじっくりやっていたのが良かったです。
- ・中学で勉強が追いつかなかった人でもゆっくり勉強できると思いました。
- ・社会科では身の回りの社会について考えられる授業で身近なところから考えられる点がとてもいいと思いました。
- ・理科の授業が苦手でもわかりやすく、とても楽しい授業でした。



・「また大槌が初ですか？」

「また、大槌が初ですか？」先日、役場の職員の方から言われたことばです。「これは違いますが…」と答えました。

大槌町の教育は、「0歳から18歳までの一貫した教育」「コミュニティ・スクール」「ふるさと科」の3つの柱に、更に今年度から「けやき共育」を加えました。誰も経験したことがない東日本大震災からの教育の復興・発展のために、前例のない教育をチーム大槌で推進してきました。

松橋教育長は、『子供達のために、「大槌だからできる」「大槌だからできた」と言えるように、私たちは教育に打ち込まなければならない。』とお話になります。

色々なことに挑戦できる教育の町「おおつち」、8月1日(火)には、大槌学園の先生方の希望により、学力調査の分析のしかたについて、ベネッセの高橋さんよりご教示いただきました。参加した先生方から分析の仕方や出題の意図、子供達の学力向上の視点等から様々な質問や意見が出されました。実際にこれからやってみよう、使ってみようという具体案も出してくださいました。先生方の熱い想いと、あらたな挑戦が始まったことを実感しました。

先生方は「SYEN」で分析、ぼくたちは「ドリルパーク」でお勉強！
学力UPにつなげよう!!

